

第37回 全国都市緑化ひろしまフェア
基 本 計 画
(案)



ひろしま
はなのわ
2020

2019年1月30日

広島県・広島市・呉市・竹原市・三原市・尾道市・
福山市・府中市・三次市・庄原市・大竹市・東広島市・
廿日市市・安芸高田市・江田島市・府中町・海田町・
熊野町・坂町・安芸太田町・北広島町・大崎上島町・
世羅町・神石高原町・公益財団法人都市緑化機構

はじめに

花や緑には、まちの景観に明るさや華やぎをもたらし、生活に活力や豊かさを吹き込んでくれる力があります。たとえ言葉は通じなくとも、見る人の心に直接働きかけ、心と心のつながりを築き、気持ちを伝えることができる、いわば人類共通の言語といってもよいかもしれません。実際に、住民や企業の皆さんが主体となって、季節の花の花壇づくりやプランターの設置などの活動をされ、地域コミュニティが活性化しています。

地域の皆さんが丹精込めて花や緑を育てることは、憩いと華やかさに満ちたまちの景観を作り出すだけでなく、自分たちの住むまち、ふるさとをよくしようという気持ちが育まれることになり、来訪者に広島のおもてなしの心を表し、広島の平和の心も語りかけてくれるはずです。

折しも2020年には、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、終戦75年という節目の年に、戦後一貫して世界平和の実現に貢献してきた日本に世界中の耳目が集まります。

そこで、花と緑にあふれ、景観も住民の心も温かく美しいまち「広島」の創造を目指して、2020年に花と緑の祭典である全国都市緑化ひろしまフェアを開催することとし、その基本計画を取りまとめました。



図 花と緑の地域資源にあふれる広島のイメージ

目 次

1 開催概要等	
(1) 全国都市緑化フェアとは	1
(2) 背景	2
(3) 経緯	6
(4) 開催の意義	7
(5) 基本理念	8
(6) 基本方針	8
(7) 開催概要	9
2 会場計画	
(1) メイン会場	14
(2) 協賛会場	29
(3) スポットイベント会場	30
3 展示・出展計画	
(1) 展示	37
(2) 出展	38
(3) コンテスト	38
(4) 植物調達	39
4 行催事計画	40
5 会場運営計画	
(1) 会場運営	43
(2) 交通輸送	43
(3) 営業参加	44
(4) ボランティア	44
6 協働推進計画	46
7 観客誘致・広報宣伝計画	47
8 事業スケジュール	49
9 事業推進体制	49

1 開催概要等

(1) 全国都市緑化フェアとは

全国都市緑化フェア（以下、「緑化フェア」という。）は、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的としています。（全国都市緑化フェア開催要綱第1条）

緑化フェアは、ドイツのガーデンショー※¹やオランダの園芸博覧会※²を参考に事業を検討し、1983年に大阪府で第1回目が開催されて以来、全国各地で毎年度開催されており、2020年の全国都市緑化ひろしまフェア（以下、「ひろしまフェア」という。）は第37回目となります。

また、広島市は1997年に第14回全国都市緑化ひろしまフェア（開催テーマ：水 緑 いのちの輝き、愛称：グリーンフェスタひろしま'97）を広島大学本部跡地、中央公園、東部河岸緑地、牛田総合公園を会場として開催しています。



図 第14回全国都市緑化ひろしまフェア（グリーンフェスタひろしま'97）

※1 1951年から2年に一度、国内諸都市の持ち回りで開催、2017年には、ベルリンで10年に一度開催される世界最大級のガーデンショー「IGA」が開催

※2 10年に一度開催されるフロリアードが2012年にフェンロー市で開催

(2) 背景

広島県の花や緑の地域資源は、国営公園・県立公園、民間観光農園等による大規模な花畑、各地の公園等の桜、オープンガーデンや日本庭園・西洋庭園、ヒガンバナ等の群生地、溪谷や寺社等の紅葉など、造形的なものから自然的なものまで多彩であり、また年間を通じて見所が移り変わるように存在しています。

こうした地域資源を、住民や企業等が主体となって更に活用し、来訪者への一層のおもてなしができるようにするためには、広島県内にあって国内外からの誘客を促している原爆ドームや厳島神社の2つの世界遺産や尾道市や呉市の日本遺産をはじめ、多島美で風光明媚な瀬戸内海、なだらかで山容美しい中国山地など多くの景勝地との連携が重要となります。

また、古代から現代に至る歴史資源、古事記の伝説地（比婆山御陵）などや古墳群をはじめ、山間部や都市部、島しょ部に保存されている近世の町並み、神楽、花田植、鵜飼等の個性的で豊かな伝統文化との関連性を生かすことが欠かせません。



世界遺産（原爆ドーム）



世界遺産（厳島神社）



日本遺産（尾道市）



日本遺産（呉市）



伝統文化（神楽）



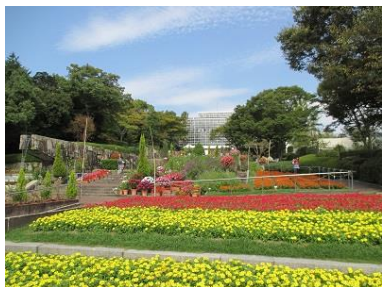
伝統文化（花田植）



伝統文化（鵜飼）

写真 国内外からの誘客を促している地域資源

1 開催概要等 (2) 背景



広島市植物公園
(広島市)



音戸の瀬戸公園
(呉市)



バンブー・ジョイ・ハイランドの桜
(竹原市)



三景園のアジサイ
(三原市)



千光寺公園の桜
(尾道市)



ばら公園
(福山市)



矢野温泉公園四季の里のアヤメ
(府中市)



辻のヒガンバナ群生地
(三次市)



庄原さとやまオープンガーデン
(庄原市)



亀居公園の桜
(大竹市)



クロボヤ峡のシャクナゲ群生地
(東広島市)



紅葉谷公園の紅葉
(廿日市市)

写真 広島県内の花や緑の地域資源



土師ダム湖畔の桜
(安芸高田市)



江田島公園の桜並木
(江田島市)



水分峡森林公園の紅葉
(府中町)



海田総合公園のひまわり花壇
(海田町)



熊野町民グラウンドの桜
(熊野町)



横浜公園の梅
(坂町)



三段峡
(安芸太田町)



天意の里ハーブガーデン
(北広島町)



大望月邸の日本庭園
(大崎上島町)



観光農園の花畑
(世羅町)



森林セラピー
(神石高原町)

写真 広島県内の花や緑の地域資源

1 開催概要等 (2) 背景

表 広島県内の主な花や緑の見所（見頃順）

自治体名	場所	花・緑資源	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島市	広島市植物公園	—												
広島市	縮景園	—												
広島市	平和大通り	—												
呉市	美術館通り	松												
呉市	桂浜	松林												
尾道市	高見山	—												
尾道市	鳴滝山	—												
三次市	神之瀬峡（県立自然公園）	—												
三次市	常清滝	—												
庄原市	国営備北丘陵公園	スイセン、ゆり、チューリップ、コスモス												
府中市	水分峡森林公園	桜、藤、もみじ、つばき												
三次市	高谷山展望台他	霧の海												
三次市	吉舎町敷地	葉ボタン												
福山市	内海町水仙の里	スイセン												
坂町	横浜公園他	梅、桜												
三次市	吉舎町安田	ユキワリイチゲ												
庄原市	総領町	節分草												
府中市	空城山公園	桜、つばき												
庄原市	東城町ためしげ	福寿草												
福山市	福山市田尻町一円	アンス												
広島市	平和記念公園他	桜												
呉市	音戸の瀬戸公園	桜、つつじ												
呉市	本庄水源地	桜												
尾道市	千光寺公園、西畑公園	桜												
福山市	福山城公園	桜												
府中市	府中公園、羽高湖	桜												
庄原市	上野総合公園	桜												
太田市	亀居公園	桜												
東広島市	鏡山公園他	桜												
廿日市市	新宮中央公園、肥後緑地、下平良二丁目公園	桜												
廿日市市	吉和緑地の里、田舎199号（吉和第一～吉和中心部他）	スイセン												
安芸高田市	湧永満之記念公園	季節の花木												
海田町	海田総合公園	桜、さつき、アジサイ、ひまわり												
熊野町	深原地区公園	シバザクラ												
呉市	二河峡公園	桜、もみじ												
竹原市	ハンブー・ジョイ・ハイランド	桜												
三次市	尾関山公園	桜、もみじ												
三次市	美波羅川干本桜他	桜												
安芸高田市	丸山公園、神乃倉山	桜、つつじ、藤												
安芸高田市	土師ダム	桜												
安芸高田市	かたくりの里	カタクリ												
江田島市	江田島公園他	桜												
熊野町	熊野町民グラウンド	桜												
北広島町	薬師公園、新地商店街裏河川敷	桜												
世羅町	世羅甲山ふれあいの里	しだれ桜、ソメイヨシノ他												
世羅町	ラ・スカイファーム	菊桃												
安芸太田町	三段峡、深入山、龍頭峡ほか	森林（森林セラピー）												
府中市	宇根かたくりの里	かたくり												
安芸太田町	安野花の駅公園	桜												
安芸太田町	月ヶ瀬公園	桜												
安芸太田町	上殿さくら公園	桜												
大崎上島町	宮山中公園、大崎公園	桜												
世羅町	世羅ゆり園	ビオラ、ゆり、ケイトウ、サルビア他												
神石高原町	スコラ高原、ティアガルテン等	森林（森林セラピー）												
広島市	京橋川河岸緑地	ハナミズキ												
呉市	野呂山	桜、もみじ												
庄原市	庄原市内一円	庄原さどやまオープンガーデン春・秋												
世羅町	世羅高原農場	チューリップ、ひまわり、ダリア												
世羅町	Flower village 花夢の里	芝桜、ネモフィラ												
呉市	美術館通り	つつじ、ケヤキ												
呉市	蔵本通り	つつじ、イチヨウ												
安芸太田町	恐羅漢スノーパーク	スイセン												
東広島市	福成寺	シャクナゲ												
世羅町	フラワーパーク せらふじ園	ぼたん桜、藤他												
三原市	宮浦公園	さつき												
府中市	安楽寺	さつき												
三次市	平田観光農園	藤												
江田島市	小用港、中町港	オリーブ												
海田町	海田町畝 観音堂公園	クスノキ												
北広島町	八幡高原	リュウキンカ、カキツバタ												
世羅町	香山ラベンダーの丘	ボビー、ラベンダー、コスモス												
福山市	ばら公園、花園公園、緑町公園	ばら												
東広島市	クロボヤ峡	ホンシャクナゲ												
北広島町	天意の里	カモミール												
世羅町	そらの花畑 世羅高原花の森	イングリッシュローズ												
三次市	県立みよし公園	花しょうぶ												
福山市	春日池公園	花しょうぶ												
府中市	神宮寺	アジサイ												
安芸高田市	向原花しょうぶ園	しょうぶ												
三原市	三景園	アジサイ、しょうぶ、もみじ												
府中市	矢野温泉公園四季の里	アヤメ												
北広島町	小倉山花しょうぶ園	しょうぶ												
呉市	長谷町	アジサイ												
安芸太田町	国道191号（松原～深入山山麓）	アジサイ												
三次市	君田町内各所	ひまわり												
廿日市市	ひまわり畑（吉和中心部）	ひまわり												
庄原市	比和町	ヒゴタイ												
三次市	吉舎町辻	ヒガンバナ												
三次市	国道375号（東酒屋町～有原町）	サルビア												
廿日市市	おおの自然観察の森	ペニマンサク												
三原市	佛通寺	もみじ												
府中市	三郎の滝、矢野温泉公園四季の里	もみじ												
廿日市市	宮島紅葉谷公園	イロハカエデ												
安芸高田市	唯称庵跡カエデ林	もみじ												
安芸太田町	吉水園	もみじ												
三次市	いこいの森弘法山	ピーナッツ												
三次市	香淀迦具神社	イチヨウ												

(3) 経緯

広島県では、2014年6月27日に公布された「花きの振興に関する法律」の趣旨に基づき、広島県及び花き業界団体等で構成する「広島花きイノベーション事業推進協議会」が設立され、2014年度から、国内花き産業の活性化を推進するため「国産花きイノベーション推進事業」が展開されています。

さらに、2015年4月には、広島市の被爆70周年記念事業の一つとして、花のまちづくりに対する市民意識の醸成と周辺市町との連携強化を目的として、「全国花のまちづくり広島大会」を開催し、花と緑のまちづくりに対する気運が高まりました。

こうした中、花きや造園といった花と緑の業界団体から緑化フェアの開催を希望する声が出始め、2016年1月から2月にかけて、県内の造園業界9団体から、広島県知事、広島市長、広島県議会議長、広島市議会議長及び県内22市町の市長・町長あてに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、終戦75年となる2020年に、県内の市町を挙げて緑化フェアを開催する旨の要望書が提出されました。

この要望書の提出を受け、2016年4月には、国・県・県内23市町の実務担当者の参加の下、緑化フェアに係る勉強会を開催しました。さらに、同年5月から2017年2月にかけて、国・県・県内23市町の担当課で構成する「全国都市緑化ひろしまフェア開催検討のための意見交換会」を6回開催し、ひろしまフェアの開催実現について検討を進めた結果、県下全市町の魅力を発信するメイン会場を広島市に設置し、県内各地のスポットイベントとメイン・協賛会場を連携する方向で、開催イメージを取りまとめました。

この開催イメージを基に、国、県及び県内23市町で第37回全国都市緑化ひろしまフェア基本構想の内容についての検討を重ね、2018年4月27日に開催した全国都市緑化ひろしまフェア懇談会で広く各界からの意見を聴取した後、開催協議書を国土交通大臣に提出し、同年5月23日に同意が得られました。

こうした中、同年7月には、「平成30年7月豪雨」により県内全域で土砂災害等が同時多発し、多くの人命と財産が失われました。

近年でも、1999年に広島市及び呉市を中心に発生した「平成11年6.29豪雨災害」や2016年に広島市を中心に発生した「平成26年8月豪雨災害」など、広島県は、多くの自然災害を受けてきましたが、その都度、地域を超えて多くの県民が助け合い、また、県内外からの温かい支援を受けながら、これまで、復旧・復興を成し遂げてきました。

今回のひろしまフェアの開催が、「平成30年7月豪雨災害」からの復旧・復興をさらに後押しし、広く県民に勇気と希望を実感していただけるものとなることを願っています。

(4) 開催の意義

ア 県内一円で緑化の推進

広島県は、多島美で風光明媚な瀬戸内海、なだらかで山容美しい中国山地など、優れた自然資源を有しています。また、県内各地の桜や紅葉、観光農園など、花や緑等の地域資源も多く、年間を通じて楽しむことができます。

緑化フェアの県内一円で開催を通じて、緑化意識の高揚や緑化に関する知識の普及等を図ることにより、地域の緑が果たしてきた役割や身近な花や緑等の地域資源の価値が再認識され、緑の保全や緑化推進が期待できます。さらに、花や緑等の地域資源の活用促進や生活に花や緑を取り入れることにより、魅力的で豊かなライフスタイルを実現することも期待できます。

イ 地域づくりの担い手の育成

豊かな地域づくりを進めるためには、地域を誇りに思い活動できる人が重要であり、これまで「瀬戸内しまのわ2014」「ひろしまさとやま未来博2017」など、地域づくりの担い手を育成するための取組を進めてきましたが、さらにこれらの取組を全県的に継承・発展させていく必要があります。

県内一円で緑化フェアの開催を通じて、地元の方々が各会場を彩る花壇づくりや花や緑を使い多くの観光客をもてなす活動に参加することにより、おもてなしの心が育まれるとともに、住民が主役となったまちづくりの推進が期待できます。さらにこれらの取組を情報通信技術や公共交通サービスの活用によりネットワーク化することで、地域間の交流が一層促進することが期待できます。

ウ 地域経済の活性化

2020年は東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年であり、これに合わせて世界中から広島へ多くの人々が訪れることが予想されます。

同年に緑化フェアを県内一円で開催することで、県内各地の会場に多くの来場が見込まれることから、これらの人々による経済波及効果が期待できます。

また、県内の花や緑、伝統文化等の地域資源の魅力を国内外に向けて発信することで、一部の観光地だけに留まらず県内全域を回遊する観光・交流を生み出すことが期待できます。さらに、農産物をはじめとした特産品の情報発信や地産地消の推進を図ることで、持続的な地域経済の活性化が期待できます。

エ 平和文化の発信と広島復興の継承

2020年は、広島市にとって、原子爆弾投下後の惨状から「75年間草木も生えぬ」と言われた被爆75年の節目の年であり、また、呉市や福山市などでは、悲惨な戦災を被ってから75年を迎えます。

同年に緑化フェアを県内一円で開催することは、緑豊かに復興した現在の姿と、「供木運動」等の広島県民の献身的な都市緑化の取組があった歴史を世界に向けて発信し継承する機会として、大きな効果が期待できます。

(5) 基本理念

東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中から広島へ多くの人々が訪れる2020年、広島ならではの花や緑等の地域資源を活用して、県内全域で回遊と交流を生み出し、花や緑の大切さと平和の尊さを世界中の人々と分かち合い、より一層の豊かな地域づくりと世界恒久平和の実現につなげていくため、県内一円で全国都市緑化ひろしまフェアを開催します。

(6) 基本方針

広島を花と緑でつないでいくフェア

■ 花や緑等の地域資源の活用

花や緑、伝統文化等の地域資源を最大限活用することで、将来に向けた利用促進を目指します。

■ 花や緑等を通じた回遊性の向上

情報通信技術や公共交通サービスと連携することで、花や緑等を通じて県内一円を結び、情報の共有や新たな人の流れを生み出すことを目指します。

広島のを結集してみんなでつくりあげるフェア

■ 地域づくりの担い手の育成

県民団体、農業団体、民間企業、学校等、様々な主体が活動可能な展開を図ることで、花や緑に造詣の深い人材を育成するとともに、活動団体等の活性化や新たな地域デビューを促進し、地域を誇りに思い活動できる人の増加を目指します。

平和と広島の魅力を世界に発信するフェア

■ 国内外への魅力の発信

緑化フェアの開催を契機に、国内外に向けて、県内各地の地域資源や特産品等の魅力を発信することで、更なる地方創生の推進を目指します。

■ 平和を象徴する花と緑の祭典

被爆75年となる2020年に、世界中の人々が花や緑等を通して平和の尊さを五感で体感し、発信できる緑化フェアを目指します。

1 開催概要等 (7) 開催概要

(7) 開催概要

ア 名称

第37回全国都市緑化ひろしまフェア

イ 愛称

ひろしま はなのわ 2020

ウ 開催テーマ

全国都市緑化フェア 統一開催テーマ

『緑ゆたかなまちづくり』

～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～

全国都市緑化ひろしまフェア 開催テーマ

ひろしま はなのわ 2020

♪「花笑（はなえみ）」ひろしまから花と笑顔と平和の わ ♪

「花笑」とは「花が咲くこと」または「咲いた花のような笑顔のこと」を表します。ひろしまフェアの開催により、県内の花や緑等の地域資源の環をつなげ、豊かな地域づくりの輪、笑顔の交流の話、平和を基調とする国際交流の和を広げていくことを目指しており、それらを通じて、大きな「わ」（環・輪・話・和）を形成したいという想いを込めています。

さらに、花と緑に音楽を加えて、「見る」「触れる」「香る」「食べる」「聴く」という「五感で体感するひろしまフェア」としたい、という想いを音符マークで表しています。



写真 全国花のまちづくり広島大会での高校生による
花と緑のアートパフォーマンス（2015年4月）

エ 主催者等

主催者：広島県、広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、
庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、
海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、
神石高原町、公益財団法人都市緑化機構

共催者：国土交通省中国地方整備局

提 唱：国土交通省

実行組織：第37回全国都市緑化ひろしまフェア実行委員会

オ 開催期間

2020年3月19日（木）～11月23日（月・祝） 250日間

カ 会場

ひろしまフェアの会場は「メイン会場」及び「協賛会場」を拠点に、ひろしまフェアの基本理念・基本方針に沿って連携する会場を「スポットイベント会場」として県内一円で展開し、花と緑等で広島の魅力を発信します。

メイン会場については、国内外に平和のメッセージを発信する平和記念公園や原爆ドームに隣接して多くの来訪客が期待でき、また、公共交通の利便性も高いことから、中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺にします。

会場種別	会場・場所	開催期間
メイン会場	中央公園（旧広島市民球場跡地を中心とする区域）及びその周辺 （広島市中区基町）	3月19日（木）～5月24日（日）67日間 ※5月25日（月）～11月23日（月・祝）は、他会場の案内や観光・市町情報を提供、連携イベントを開催
協賛会場	国営備北丘陵公園 （庄原市三日市町）	3月19日（木）～11月23日（月・祝） 250日間
	県立せら県民公園 （世羅町黒淵）	
	県立びんご運動公園 （尾道市栗原町）	
	県立みよし公園 （三次市四拾貫町）	
スポットイベント会場	県内23市町の スポットイベント会場	2020年に開催する 各スポットイベントの実施期間

1 開催概要等 (7) 開催概要



図 会場の配置と展開イメージ

	2020年												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
公式行事			開会式 ▼	全国都市緑化祭（期間中1日）							閉会式 ▼		
メイン会場			展示・出展、行催事 観光・市町情報の提供			観光・市町情報の提供、連携イベントの開催							
協賛会場			協賛イベントの開催、観光・市町情報の提供										
会場間の連携	一体的広報によるPR			メイン会場・協賛会場でのスポットイベント会場等のPR									
スポット イベント 会場 (23市町)	既存イベントを花や緑等でブラッシュアップし、地域の花や緑、伝統文化等の魅力を発信												
会場間の連携	スポットイベント会場同士の連携によるリレー形式のPR												

図 会場の展開方針

メイン会場・協賛会場・スポットイベント会場間の連携を図ることで、花や緑、伝統文化等の地域資源を活用した県内全域の回遊と交流を生み出し、住民や企業等が主体となった豊かな地域づくりの契機となることを目指します。

キ 目標来場者数

メイン会場：160 万人

協賛会場・スポットイベント会場（対前年来場者増加数）：80 万人

ク 入場方式

メイン会場：無料

ただし、催事については、有料のものを検討

協賛会場・スポットイベント会場：現行と同様

ケ 事業費

概ね12億円（協賛会場・スポットイベント会場費除く。）

コ ロゴマーク



■ シンボルマーク

開催テーマにある「はなのわ」をイメージしながら、花と緑により人・自然・地域のつながりを育むとともに、瀬戸内海や中国山地、広島県のシンボルである紅葉などをモチーフとすることにより、県内一円で開催するひろしまフェアを表現しています。

■ ロゴタイプ

「はなのわ」を強調するとともに、グラデーションを使用することで、春から秋までの開催に合わせ、移り変わる多彩で豊かな広島の自然を表現しています。

サ キャラクター

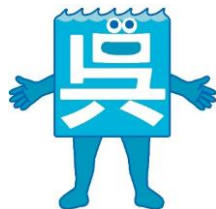
特定のシンボルキャラクターを設けず、主催自治体にゆかりあるキャラクターを「はなのわ応援隊」として、広報宣伝などに活用します。



広島県



広島市



呉市



竹原市



三原市



尾道市



福山市



府中市



三次市



庄原市



大竹市



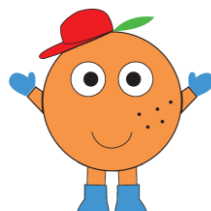
東広島市



廿日市市



安芸高田市



江田島市



府中町



海田町



熊野町



坂町



安芸太田町



北広島町



大崎上島町



世羅町



神石高原町

図 「はなのわ応援隊」

2 会場計画

(1) メイン会場

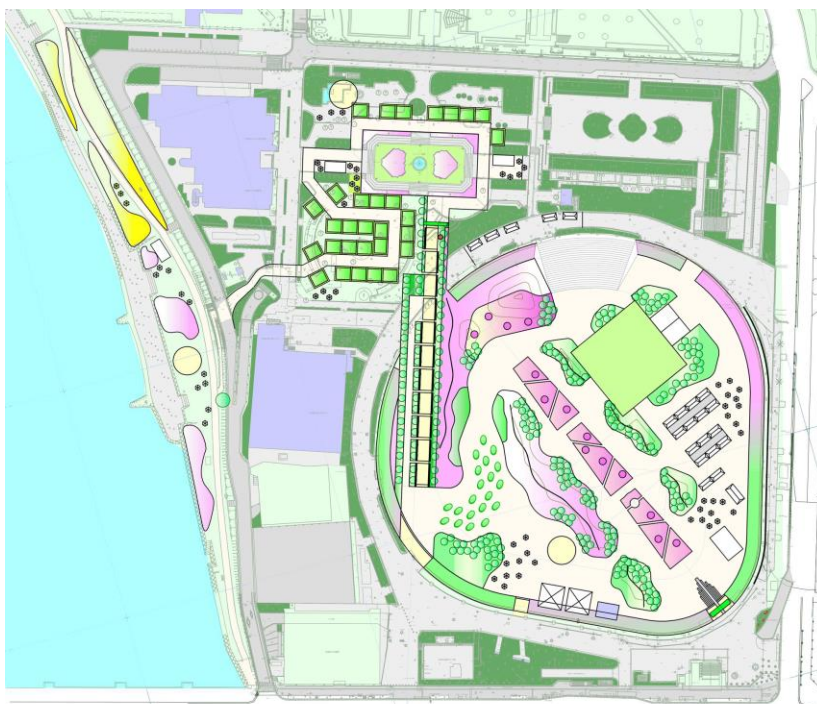
- ・ひろしまフェアの象徴として、広島県の風土の豊かさや花と緑あふれる暮らしの豊かさを五感で感じることができる会場づくりを目指します。
- ・多くの県民が参加することにより、県内 23 市町の魅力が出会い交流する会場とします。
- ・被爆及び戦災 75 年を迎え、花と緑豊かに復興した広島の姿と未来に向けた平和のメッセージを世界に発信する会場とします。
- ・国内外の様々な人々が楽しめるように、Wi-Fi 環境の整備、会場サインの多言語化やバリアフリーなど、ユニバーサルデザインに配慮した会場とします。
- ・多くの人々に花と緑の心地よさを感じてもらうとともに、県内 23 市町のスポットイベント会場や地域の魅力を発信し、県内全域への回遊を促進します。
- ・春から秋にかけて県内一円で開催するひろしまフェアを、植物の芽吹きから実りまでの流れで表現します。
ひろしまフェアは、メイン会場から協賛会場とスポットイベント会場へ植物が生長するように広がっていき、各会場で花を咲かせ、大きく美味しい実をつけます。
メイン会場は、植物の芽吹きから展葉までの生長初期に集中的な展開を図り、その後は幹として各会場をつなぎ、養分（情報）を供給します。
- ・春（3 月 19 日～5 月 24 日）には、ひろしまフェアを象徴する景観演出や各種展示・出展、行催事を集中して展開します。
- ・夏から秋（5 月 25 日～11 月 23 日）には、情報発信拠点である「ウェルカムゾーン」と旧広島市民球場跡地を囲う「はなのわ」を残し、その中で、民間企画イベントを「連携イベント」として開催します。

表 植物の流れを取り入れたメイン会場の展開方針

開催期間	植物の流れ	展開方針	展開内容
3 月 19 日 └ 5 月 24 日	芽吹き └ 展葉	祭りの始まり └ 成長と広がり	開会式、全国都市緑化祭 主催者展示花壇 企業団体等出展花壇 はなのわ・ウェルカムゾーン 集客・交流イベント等
5 月 25 日 └ 11 月 23 日	開花 └ 実り	発展と継承 └ フィナーレ	はなのわ・ウェルカムゾーン 民間企画イベントとの連携（連携イベント） 閉会式

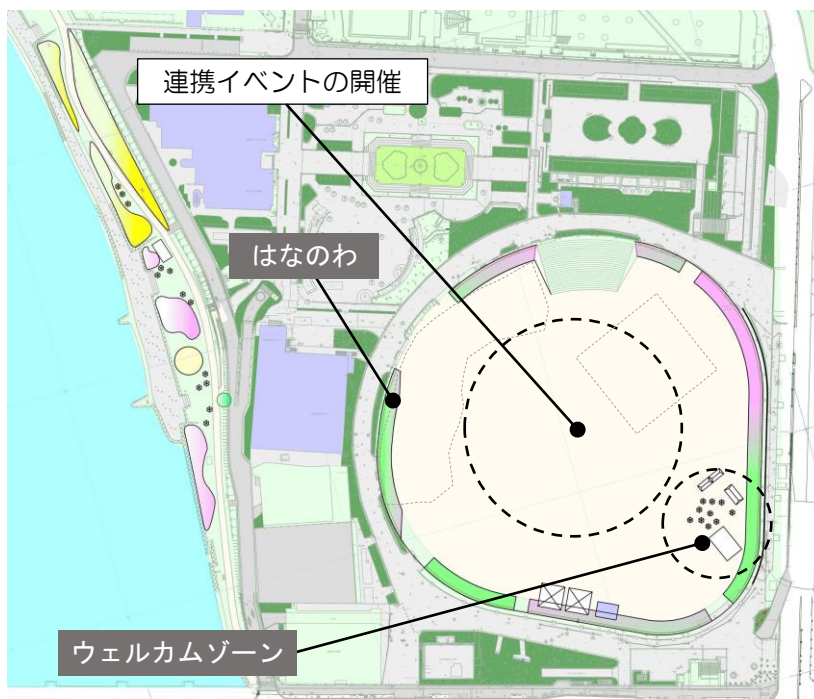
2 会場計画 (1) メイン会場

メイン会場 (3月19日～5月24日)



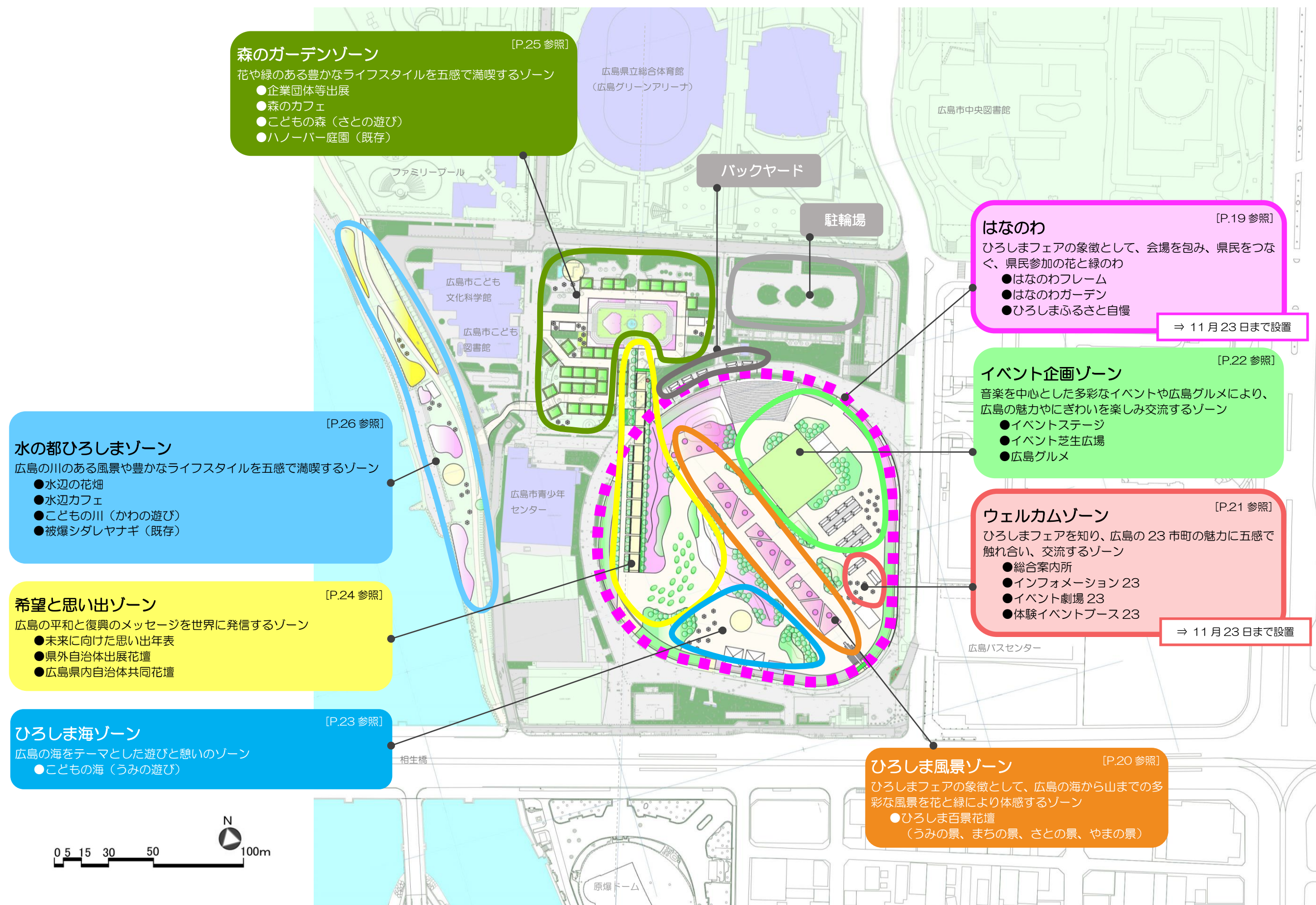
ひろしまフェアを象徴する景観演出や各種展示・出展、行催事を展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

メイン会場 (5月25日～11月23日)

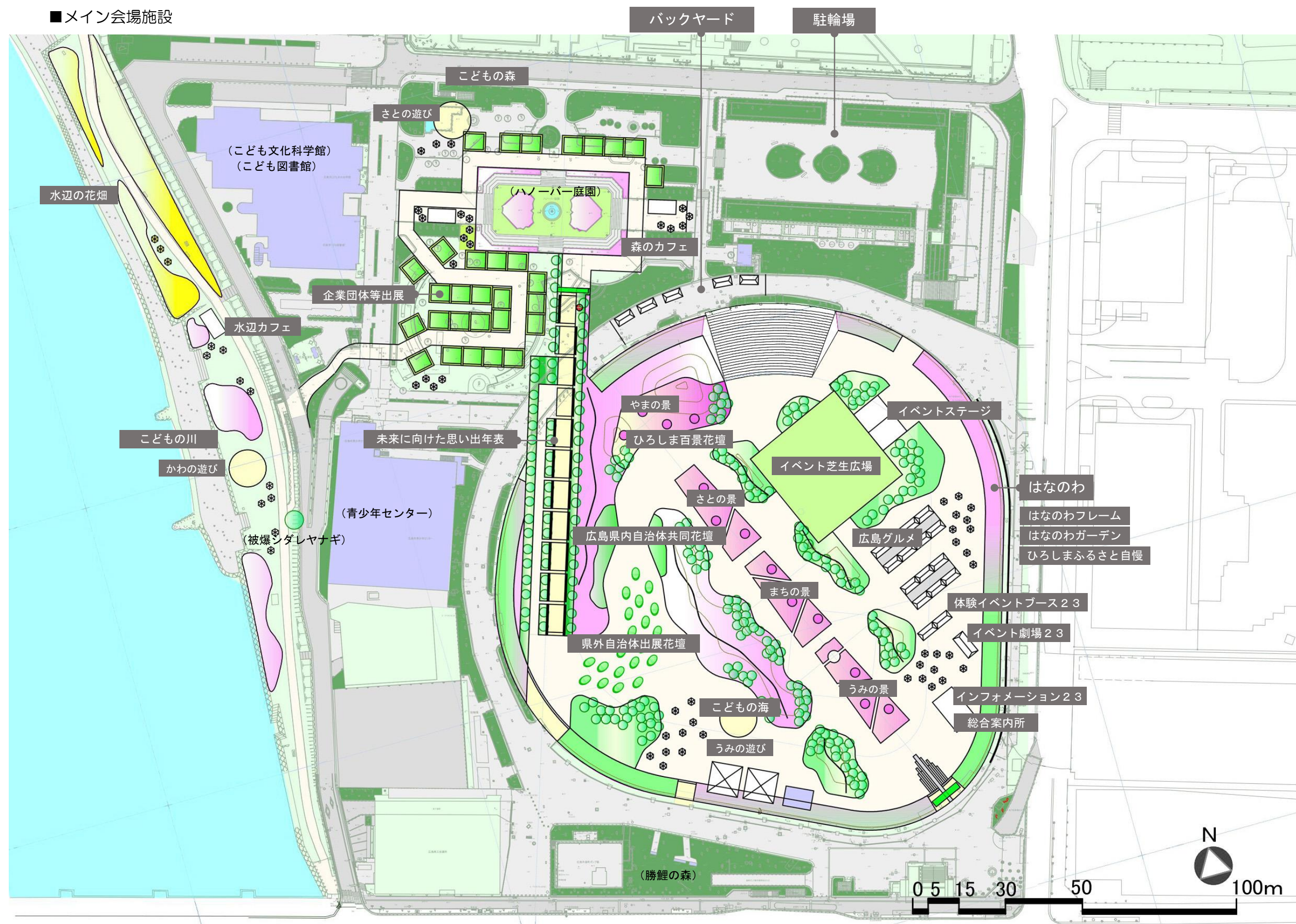


はなのわ及びウェルカムゾーンを残し、旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントを連携イベントとして展開するとともに、スポットイベント会場や地域の魅力を情報発信

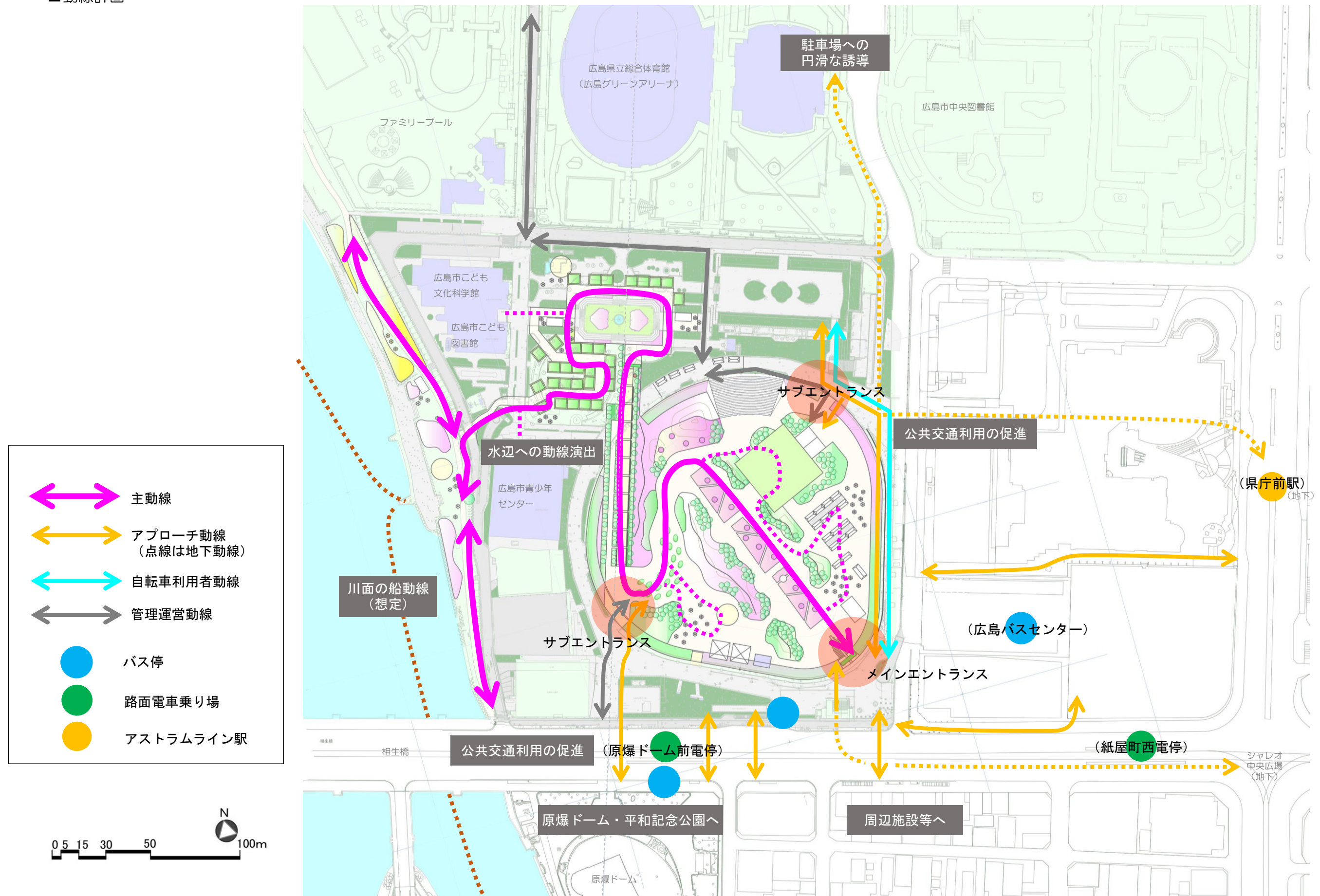
■メイン会場ゾーニングプラン



■メイン会場施設



■動線計画



■ 各ゾーンの展開イメージ

● はなのわ

- ・旧広島市民球場跡地の歴史を活かし、花の土手でメイン会場周囲を囲むとともに、立体的な演出で、花があふれる景を演出します。
- ・「はなのわフレーム」として、ベースとなる花修景をつくり、その中に参加型の花壇「はなのわガーデン」を設置し、県民全体（団体、学校、個人、企業など）でつくりあげます。
- ・「ひろしまふるさと自慢」として、県内 23 市町の観光情報や花と緑の見所等を紹介するパネルを設置します。
- ・開催期間中、展示し続けることで、ひろしまフェアの開催等を発信し続けます。



写真 「はなのわ」のイメージ

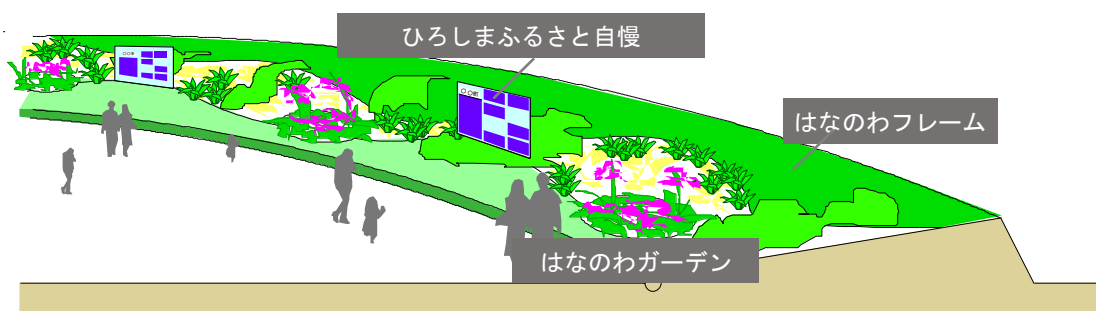


図 「はなのわ」の構成

名称	整備主体	内容
はなのわフレーム	主催者	花と緑で構成されるメイン会場のフレームとなる花壇（P.37参照）
はなのわガーデン	県民	県民（団体、学校、個人、企業など）参加による花壇（P.38参照）
ひろしまふるさと自慢	主催者	県内23市町の観光情報や花と緑の見所等を紹介するパネル

2 会場計画 (1) メイン会場

● ひろしま風景ゾーン

- ・広島から海から山までの多彩な風景を、ランドアート※¹とモザイカルチャー※²を織り交ぜながら、うみの景、まちの景、さとの景及びやまの景の構成で、一連の景観として描き出します。
- ・メインエントランスからのウェルカムビューとして、ひろしまフェアを印象付けます。
- ・広島に由来する著名人（スポーツ・芸能・文化などの分野）から「未来に向けた広島へのメッセージ」をもらい、花壇とともに飾っていきます。



写真 ひろしま風景ゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
ひろしま百景花壇 (うみの景、まちの景、 さとの景、やまの景)	主催者	ランドアート・モザイカルチャーを織り交ぜた花壇（P.37参照） 広島に由来する著名人からのメッセージサイン

※1 ランドアート : 土、岩、樹木などの自然の素材を用いて大地に直接構築される造詣作品

※2 モザイカルチャー: 人、動物、風景などの像（金属フレーム）の表層に花を植えこんだ色彩豊かな立体造形。
「モザイク」と「カルチャー」を組み合わせた造語。

● ウェルカムゾーン

- ・ひろしまフェアの総合案内としての機能に加えて、広島県及び県内 23 市町の観光や物産、地域資源などの魅力に、五感で触れ合い、交流する場とします。
- ・パンフレットの配布やポスターの掲示などの単なる情報提供に留まらず、県内 23 市町が実演等による演出を行い、各市町の魅力を積極的に PR できる場とします。
- ・開催期間中、設置し続けることで、スポットイベント会場等の情報を発信し続けます。



写真 ウェルカムゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
総合案内所	主催者	ひろしまフェアの情報の発信 サービス提供（車いす・ベビーカーなど）
インフォメーション23	主催者	県内の観光・23市町情報の発信 地域の物産・お土産物の販売
イベント劇場23	主催者	県内23市町の実演イベントの展開 （見る、聴くなど）
体験イベントブース23	主催者	県内23市町の体験イベントの展開 （触れる、香る、食べるなど）

2 会場計画 (1) メイン会場

● イベント企画ゾーン

- ・主催者イベントだけでなく、多様な主体の連携イベントを展開することで、にぎわいを楽しみ、交流する場とします。
- ・「広島グルメ」では、新鮮でおいしい広島の食を提供することで、飲食しながら花や緑等を楽しめる場とします。



写真 イベント企画ゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
イベントステージ	主催者	屋根付きのステージを設置し、主催者イベント及び連携イベントを開催
イベント芝生広場	主催者	大芝生広場を設置し、主催者イベント及び連携イベントを開催 広島グルメの飲食の場としても活用
広島グルメ	主催者	広島ならではの飲食物の提供 お土産や手づくりグッズなどの販売

● ひろしま海ゾーン

- ・瀬戸内海をテーマとした遊びと憩いの場とします。
- ・こども達が、海をテーマとした遊びを通して、広島を感じ、花と緑を感じ、新たな友達をつくる場とします。



写真 ひろしま海ゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
こどもの海 (うみの遊び)	主催者	海をテーマとした遊びの展開

2 会場計画 (1) メイン会場

● 希望と思い出ゾーン

- 平和記念公園の原爆死没者慰霊碑と原爆ドームを結ぶ軸線上に位置するゾーンとなるため、被爆、そして終戦から始まった広島への復興の歴史を振り返り、新たな広島の姿、新たな世界の平和の姿に想いを馳せる場とします。
- 日本全国の自治体や、県内 23 市町などの花壇により、各地の歴史・文化と花や緑が調和した魅力が楽しめ、華々しく彩られた場とします。



写真 希望と思い出ゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
未来に向けた思い出年表	主催者	被爆・終戦から75年、今後の25年の100年の出来事の年表 並木による軸線の演出 (P.37参照)
県外自治体出展花壇	自治体	日本全国の自治体が出展する花壇 (P.38参照)
広島県内自治体共同花壇	主催者	主催者 (広島県と県内23市町) でつくる花壇 (P.37参照)

● 森のガーデンゾーン

- ・既存のハノーバー庭園を中心に、既存樹木を活かした空間とします。
- ・広島庭園技術の技と美を集結することで、美しいガーデンの景に心奪われる場とします。
- ・花や緑の豊かさを感じながら、森をテーマにこども達が遊び、家族みんなで憩える場とします。



写真 森のガーデンゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
企業団体等出展	企業、団体等	広島の造園、庭園、ガーデニングの技術やデザインが集結し、回遊できる森の中のガーデン（P.38参照）
森のカフェ	企業、団体等	森の中で花や緑を見ながら憩えるカフェ
こどもの森（さとの遊び）	主催者	森・里・山をテーマとした遊びの展開

2 会場計画 (1) メイン会場

● 水の都ひろしまゾーン

- ・太田川の雄大な風景の中で、花や緑などの自然の美しさや心地よさを感じる場とします。
- ・川原での散策や憩い、体験、遊びなど、川ならではの楽しみが体験できる場とします。
- ・爆心地に一番近い被爆シダレヤナギなど、既存の資源を活かした場とします。



写真 水の都ひろしまゾーンのイメージ

名称	整備主体	内容
水辺の花畑	主催者	広々とした川原にそよぐ雄大な種まき花壇 (P.37参照)
水辺カフェ	企業、団体等	川原で花を見ながら憩えるカフェ
こどもの川 (かわの遊び)	企業、団体等	川をテーマとした遊びの展開

■メイン会場イメージパース（全景）



■メイン会場イメージパース (ゾーン別)

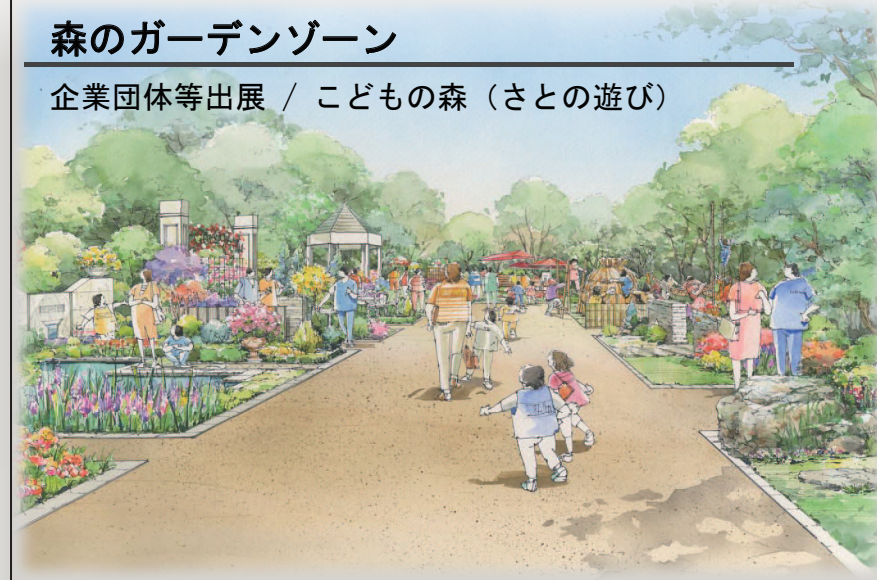
水の都ひろしまゾーン

こどもの川 / 水辺の花畑



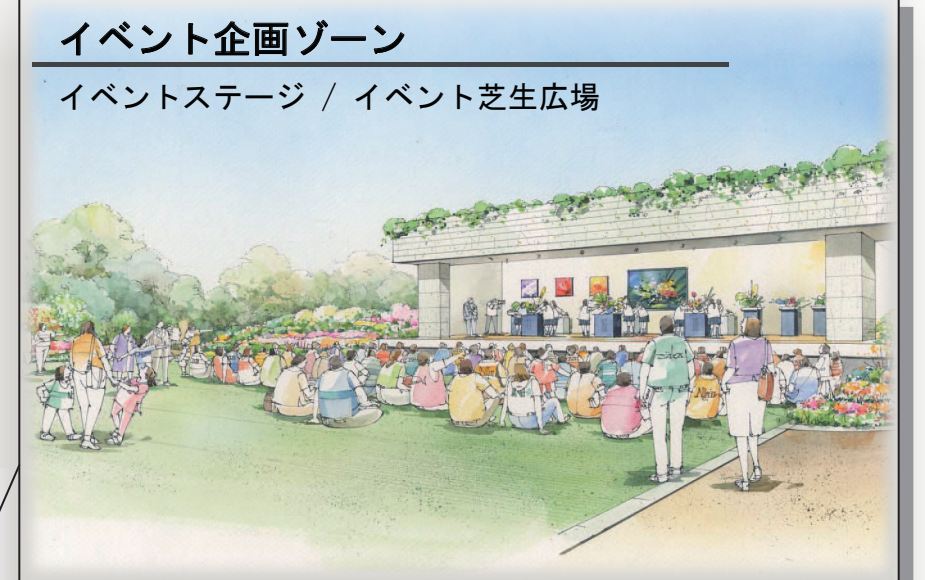
森のガーデンゾーン

企業団体等出展 / こどもの森 (さとの遊び)



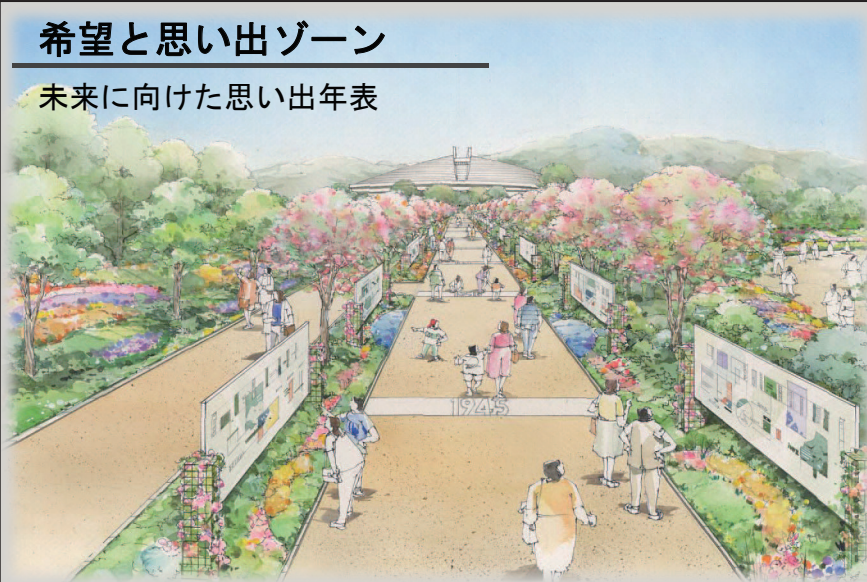
イベント企画ゾーン

イベントステージ / イベント芝生広場



希望と思い出ゾーン

未来に向けた思い出年表



ウェルカムゾーン

体験イベントブース 2 3



ひろしま海ゾーン

こどもの海 (うみの遊び)



ひろしま風景ゾーン

ひろしま百景花壇



ウェルカムゾーン

イベント劇場 2 3



(2) 協賛会場

- 各公園の物的、人的資産の既存ストックを活かしながら、それぞれの会場にふさわしい出展や展示手法を取り入れた様々な協賛イベント等を開催し、各公園の特性に応じた多様な公園利用者が、花や緑のある豊かなライフスタイルなどを実感できる会場とします。
- 各公園の特性に応じたスポーツ、レクリエーション、文化活動等の多様な公園利用者に、各地域のスポットイベント会場の情報発信を行い、回遊を促進する会場とします。
- 地域の企業や団体、学校、県民など、様々な主体が楽しみながら参加できる仕組みを取り入れ、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。
- ひろしまフェアを契機に、国営公園・広域公園として地域との連携（地域情報の発信と地域住民の公園活動への参加等）をさらに高め、圏域の地域づくりに資する公園づくりへとつなげていきます。



国営備北丘陵公園



県立みよし公園



県立びんご運動公園



県立せら県民公園



スポットイベント等地域情報の発信例

写真 協賛会場等

2 会場計画 (3) スポットイベント会場

(3) スポットイベント会場

- ・既存イベントを花や緑等でブラッシュアップし、地域の花や緑、伝統文化等の魅力を実感できる会場とします。
- ・花や緑をつなぎ手として、地域住民と来訪者との交流、地域住民と他のスポットイベント会場の地域住民との交流など、新たな交流を生み出す会場とします。
- ・地域の企業や団体、学校、県民など、地域が主体となって、花と緑等によるにぎわいや地域の豊かなライフスタイルを創造する会場とし、豊かな地域づくりの担い手の育成につなげていきます。



広島市



呉市



竹原市



三原市



尾道市



福山市



府中市



三次市



庄原市

写真 スポットイベント会場の展開例



大竹市



東広島市



廿日市市



安芸高田市



江田島市



府中町



海田町



熊野町



坂町



安芸太田町



北広島町



大崎上島町



世羅町



神石高原町

写真 スポットイベント会場の展開例

2 会場計画 (3) スポットイベント会場

表 スポットイベントのブラッシュアップ例

スポットイベント	ひろしまフェアでのブラッシュアップ例
花や庭園が主役のイベント	- 花を活用した体験メニューの充実化（見るだけでなく、花を五感で楽しむ） - ガイドの実施（花のガイドや庭園ガイド等、花と地域との関係性を伝え、花を通じて地域への共感を呼ぶ）等
自然・農に親しむイベント	- その地域ならではの自然体験プログラムの充実化 - 収穫だけでなく、食べる体験を含めた充実化 - 自然体験や農体験に合わせた地域の魅力の発信（ご当地マルシェ等との共催による特産品や人との出会いの創出）等
伝統文化にふれあうイベント	- 伝統文化（筆、酒、竹、花田植え、神楽等）と花や緑とのコラボレーション - 様々な筆で「花」を描く体験、竹筒の一輪挿しや生け花による歴史的町並みの演出、生花で飾る花田植え、花や紅葉を題材とした神楽 等
健康・スポーツイベント	- 花や緑を通じて地域の魅力が感じられるウォーキングイベントの最適時期やコース設定 - ウォーキングイベント等の休憩ポイント等で、地域ならではの花や緑を五感で楽しめる体験メニューや食の提供 - 参加賞や表彰での地域ならではの花苗や冠の提供 等
ミュージアムイベント	- 花や緑をテーマとした企画展示の展開 - 動物と生息地の気候帯の植物との関係性の企画展示、戦災復興や平和と「花」との関係性をテーマとした企画展示、花や庭園の絵画コレクションの企画展示 等 - 花の写生大会、花や自然を描く絵画教室、クラフト教室 - 花や庭園の書籍や絶版本コレクションの企画展示
その他のイベント	- 祭りのコンセプトや地域性を表現できる花をみんなで考え、その花で祭りを演出（外国人にも共感を呼べるような、地域や祭りとの物語性のある花をセレクト） - 花とステージショー、花と映画祭、花と音楽、花とパレード、花と港、花と花火、花と追悼・鎮魂、花とワイン、花とだるま、花と踊り、花と城跡 等



着物姿での庭園ガイド
（外国語ガイド）



竹筒の一輪挿し等で統一された
歴史的町並みの豊かな演出



緑化フェアに合わせた古本市イベント
（花や庭園本コーナーの特設）

写真 スポットイベントでのブラッシュアップ例

2 会場計画 (3) スポットイベント会場

表 スポットイベント会場の展開スケジュール例

：ひろしまフェア開催期間（3月19日～11月23日）

[illegible]

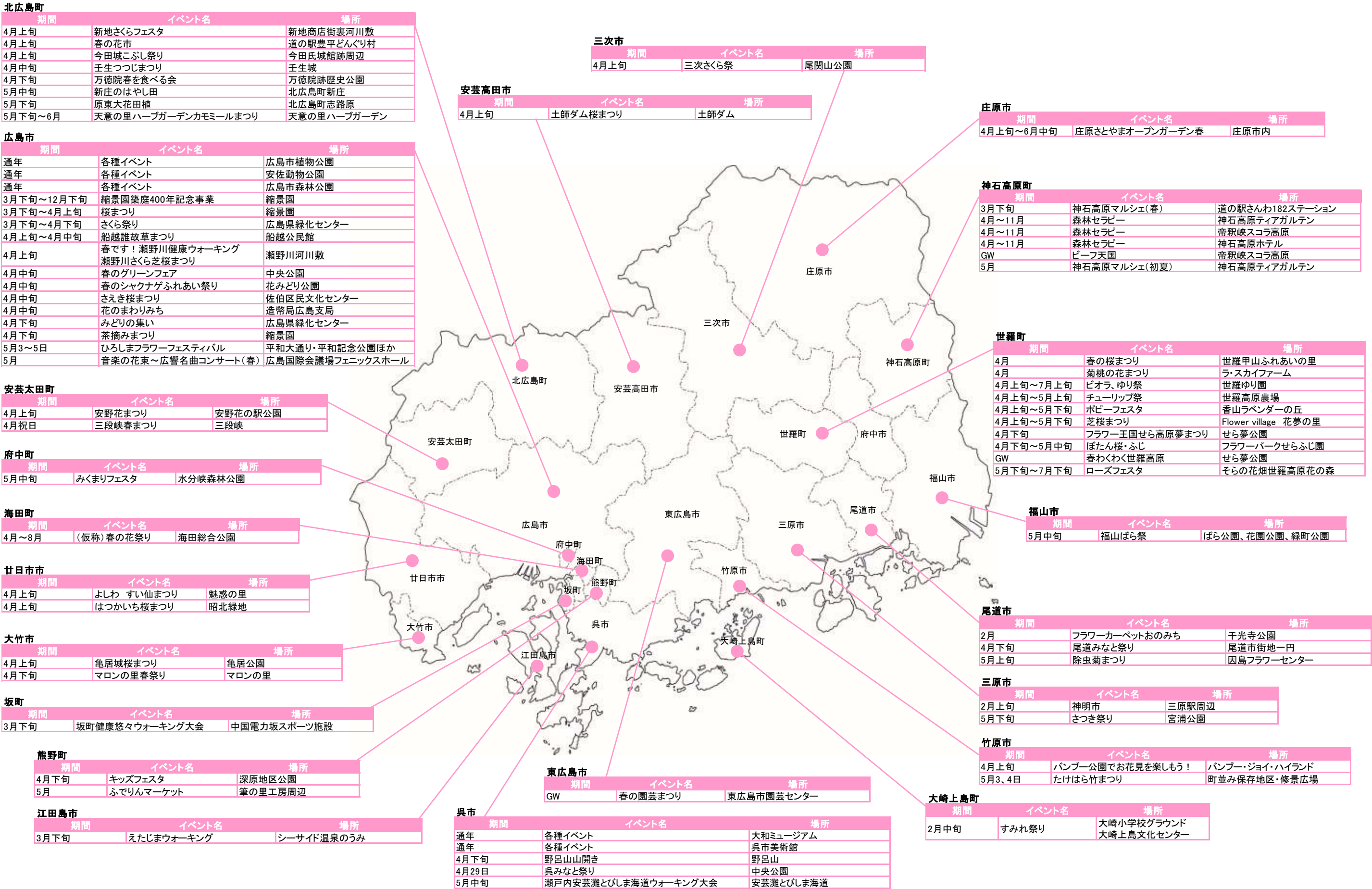


図 スポットイベント会場の展開例（1～5月）

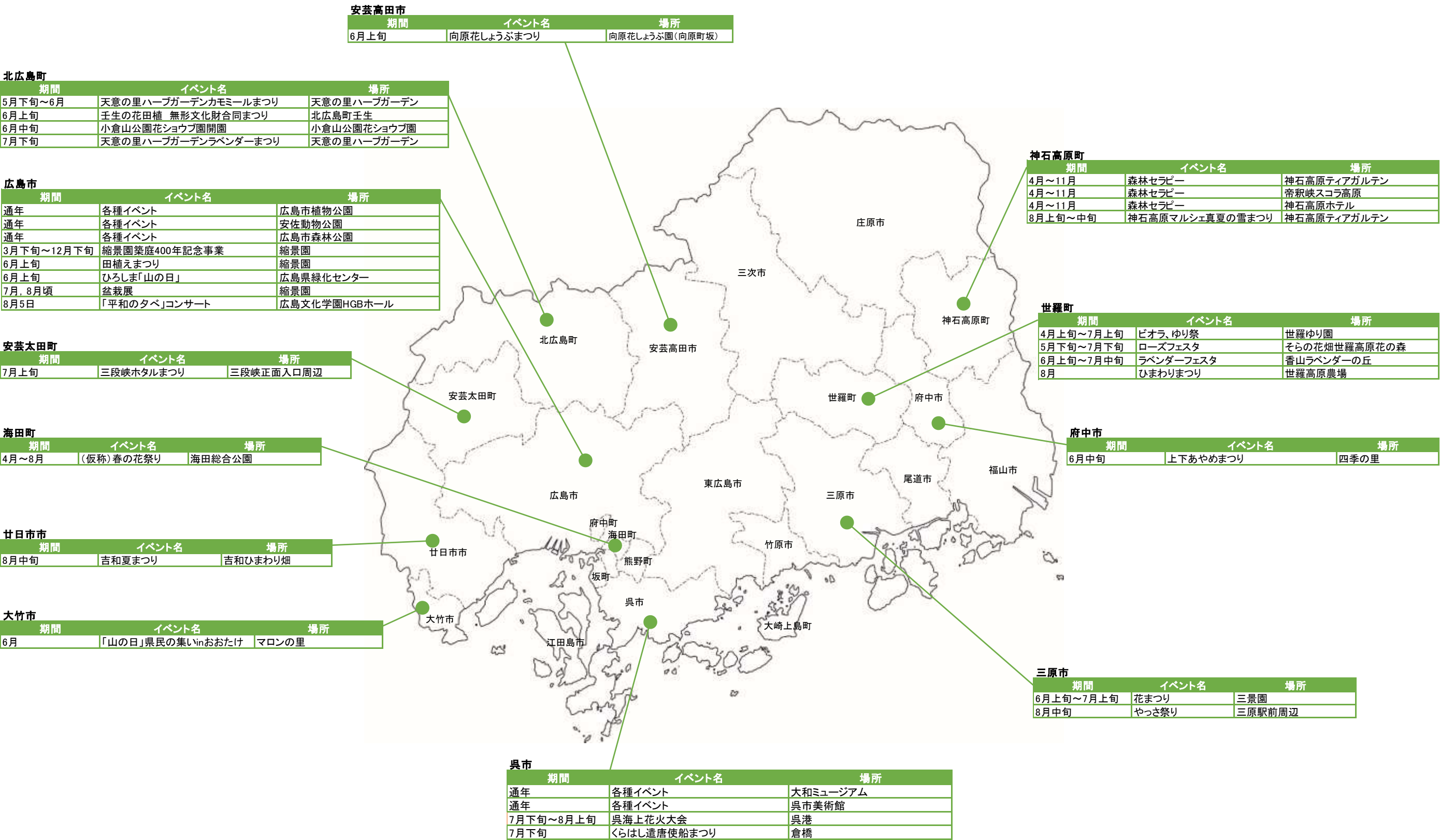


図 スポットイベント会場の展開例（6～8月）

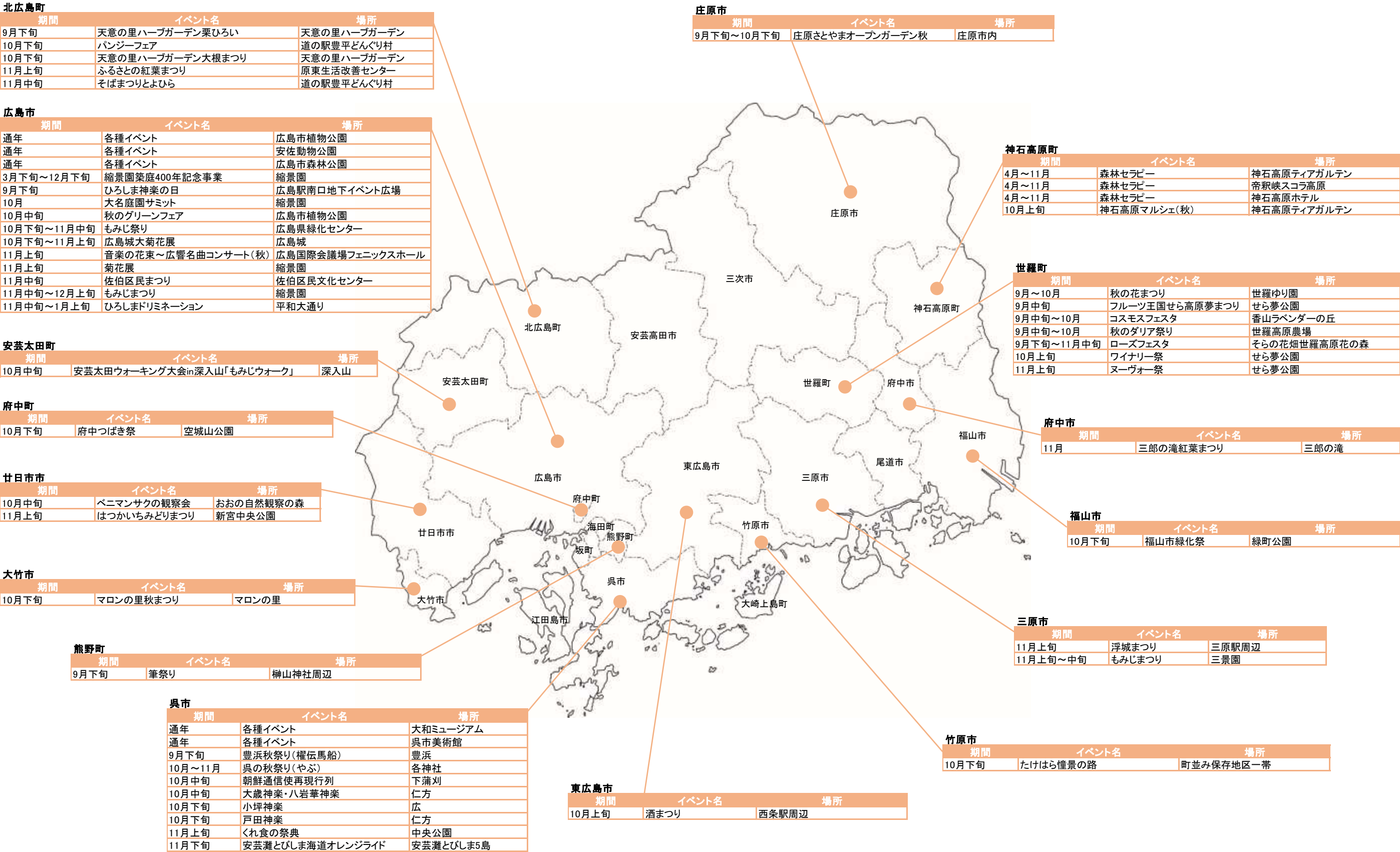


図 スポットイベント会場の展開例（9～12月）

3 展示・出展計画

(1) 展示

■定義

展示	ひろしまフェアの基本理念・基本方針及び開催テーマなどを表現するため、主催者が自ら企画、デザイン、施工（制作）する展示物
----	---

■展開想定

ゾーン	展開	規模	概要
はなのわ	はなのわフレーム	3,000㎡	県民参加による「はなのわガーデン」と一体となった花壇 ※ひろしまフェア全期間（3月19日～11月23日）にわたり展示
ひろしま風景ゾーン	ひろしま百景花壇	2,900㎡	広島県の4つの景をモチーフとした花壇
希望と思い出ゾーン	未来に向けた思い出年表	700㎡	被爆・終戦100年に向けて、戦災からの復興の歴史と平和を発信する展示
	広島県内自治体共同花壇	400㎡	広島県と県内23市町が共同で展示する花壇
水の都ひろしまゾーン	水辺の花畑	500㎡	水辺を彩る花畑



はなのわ



ひろしま百景花壇



未来に向けた思い出年表



広島県内自治体共同花壇



水辺の花畑

写真 展示のイメージ

3 展示・出展計画 (2) 出展

(2) 出展

■定義

出展	・参加者が自ら企画、デザイン、施工（制作）し、会場内に設置する作品 ・主催者がひろしまフェアの基本理念・基本方針及び開催テーマなどを踏まえて設定したテーマや作品形態に、参加者が制作する作品
----	---

■展開想定

ゾーン	展開	規模	概要
はなのわ	はなのわガーデン	20㎡×20区画 ×3回転	県内の企業や団体、学校等による 様々な参加形態による花壇 ※ひろしまフェア全期間（3月19 日～11月23日）を3回程度の 期間に分け、参加者を入替えな がら、開催期間にわたり出展
希望と思い出 ゾーン	県外自治体出展花壇	15㎡×20区画	県外の自治体による個別出展花壇
森のガーデン ゾーン	企業団体等出展	30㎡×30区画	県内外の企業や団体等による庭園 や花壇 ※コンテストの対象



はなのわガーデン
(はちおうじフェア参加風景)



県外自治体出展花壇
(よこはまフェア)



企業団体出展
(よこはまフェア)

写真 出展のイメージ

(3) コンテスト

- ・造園や園芸、緑化等の技術を全国的な視点から評価顕彰するために、出展作品を対象とした専門家によるコンテストを実施します。
- ・出展作品を通じて花や緑への関心を高めていただくために、専門家による審査の他、県民や来場者によるコンテストの実施も検討します。

■展開想定

区分	内容	実施例
専門家によるコンテスト	企業・団体や学校等から出展された庭園作品や県民から出展された花壇や緑化作品を対象としたコンテスト	庭園出展コンテスト ハンギングバスケットコンテスト
来場者によるコンテスト	展示や出展作品、催事内容についての投票方式のコンテスト	来場者人気投票



専門家によるコンテスト
(とっとりフェア)



来場者によるコンテスト
(とっとりフェア)

写真 コンテストのイメージ

(4) 植物調達

- ・会場計画、出展・展示計画及び行催事計画と連携し、特殊な品種等を除き、県内および近隣県で生産される植物を中心に調達します。
- ・花き産業の更なる活性化、県民への花きの普及及びひろしまフェアを契機とした新たな交流を生み出すことを目指して、県内の生産団体等と連携・協力して生産・調達体制を構築します。
- ・植物の生産状況の調整や、会場への搬入・施工・維持管理を円滑に進めるための監理体制を構築します。
- ・ひろしまフェア開催期間中の植物の維持管理においては、会場運営計画と連携し、ボランティアの積極的な参加に取り組みます。

■展開想定

区分	検討内容
調達	・植物調達体制の構築（具体的な調達体制） ・植物調達数量の把握（時期ごとの調達数量） ・植物調達区分の整理（展示出展の区分における調達内容）
施工	・施工体制の構築（調達時期や数量に応じた施工体制） ・バックヤード管理体制の構築
維持管理	・植物維持管理方法の検討 ・ボランティアの活動方法の検討

4 行催事計画

- ・開会式、閉会式及び全国都市緑化祭などの公式行事を実施するとともに、主催者が行う「主催者イベント」の実施と、企業・団体等が行う「連携イベント」の誘致を行います。
- ・「広島初」といったような、ひろしまフェアを広く認知してもらい、数多くの県民や来訪者に来場してもらうための「集客イベント」を企画するとともに、実施主体や地域と来場者の関係を築くための「交流イベント」を開催するなど、多彩な行催事を展開することで、何度もひろしまフェアに訪れるきっかけと楽しみを提供します。
- ・イベント企画ゾーン、ウェルカムゾーン、水の都ひろしまゾーンでは、多彩な集客イベントや連携イベントを開催するとともに、県内 23 市町及び各種団体等による交流イベントを開催し、数多くの人に県内 23 市町や花と緑等への興味・関心を高めてもらい、交流を促します。
- ・ひろしまフェアの開催を効果的に PR するため、開催 1 年前などの節目にプレイベントを実施するとともに、メディアとタイアップした催事を行います。
- ・花と緑による地域づくりや、緑化技術の向上、花や緑に触れ合うきっかけとなるような普及啓発型催事、県民参加型催事及びシンポジウム等を実施します。
- ・花や緑のあるライフスタイルの豊かさを実感するため、誰でも楽しく参加できる数多くの体験型ワークショップ等を開催します。
- ・被爆の生き証人である被爆樹木や、戦災からの緑の復興の歴史を伝える供木等を巡るガイドウォーク等のプログラムを実施し、被爆や戦災からの復興の記憶を世界に発信し、その伝承を図ります。
- ・こどもが楽しめるよう、広島海、森、川にちなんだ遊びを提供できるプログラムを連携イベントとして展開します（こどもの海、こどもの森、こどもの川）。
- ・花や緑をつなぎ手として広島全体の一体感を高める象徴的な行催事を県民参加で行います（県内の花や緑のまちづくりグループが一堂に集まって情報交換や交流を深める交流会や、スポットイベントの PR を生花でリレーする「ひろしま生花リレー」等）。
- ・メイン会場、協賛会場及びスポットイベント会場を回遊するきっかけとなる仕組みを構築します（スタンプラリー手法の検討など）。

■主催者イベント実施例

		区 分	概 要	行催事例
プレイベント		カウントダウンイベント	1 年前イベント 100 日前イベント (広報宣伝活動と連携)	・カウントダウンボードの点灯式 ・主要誘客エリアを巡るキャラバン隊の編成 ・緑化コンテスト ・主要イベント会場同時に行うアクション など
公式行事		開会式、閉会式 内覧会 全国都市緑化祭	開会式・閉会式 内覧会 全国都市緑化祭	・オープニングセレモニー ・クロージングセレモニー ・開会の直前に各関係者、マスメディア等を招待 ・記念式典、記念植樹、記念祝賀
メイン会場での催事	集客イベント	ステージ催事、 メディアタイアップ催事	会場内のステージを利用した 著名人、県民参加型催事	・著名人を招いた「花・緑」を活用したステージ ・地域住民による「花・緑」を活用したステージ ・伝統芸能・地域芸能 ・ストリートパフォーマンス など
		交流イベント	普及啓発型催事 (花・緑体験催事)	ガイドツアー 季節の生花を使用した体験
	※屋内向け催事は 周辺文化施設等の 諸室や空き店 舗活用を検討		花や緑のクラフト体験 こどもを対象に自然に触れる体験	・染物、ドライフラワー、ハーバリウム、 押し花などのクラフト体験 など ・グランピング、アスレチックなど自然と 触れ合う体験 など
	県民参加型催事		緑化体験 住まいに花・緑の取り入れ方を学ぶ	・庭づくり、寄せ植え、ハンギングバスケット等の体験型ワークショップ など
	県民参加型催事		県内一円を「花・緑」で つなぎフェア全体の一体感を 高める催事	・広島県内の花や緑のまちづくりグループの交流会 ・協働意識醸成のため県民参加のワークショップ など
	戦災復興催事		被爆や戦災からの復興の記憶を世界に発信する催事	・被爆樹木や供木のガイドツアー など
	協賛会場・ スポーツイベント会場 等と連携した催事	普及啓発型催事 (花・緑体験催事)	(メイン会場と同様)	(メイン会場と同様)
		交流イベント	県民参加型催事	県内一円を「花・緑」で つなぎフェア全体の一体感を 高める催事
シンポジウム		都市緑化シンポジウム	広島都市緑化や花と緑のまちづくり、環境をテーマとするシンポジウムを開催	・花緑の達人リレーシンポジウム ・都市緑化シンポジウム など

■連携イベント実施例

時 期	ゾーン等	概 要
3月19日(木)～ 5月24日(日)	イベント企画ゾーン ウェルカムゾーン	旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントとの連携 多彩な集客イベント 各種団体による交流イベント
	こどもの海 こどもの森 こどもの川	各種団体による遊び体験イベント (ひろしまの海、森、川をテーマとした遊び体験イベント)
5月25日(月)～ 11月23(月・祝)	旧広島市民球場跡地	旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントとの連携

4 行催事計画



オープニングセレモニー
(とっとりフェア)



ステージイベント
(はちおうじフェア)



森の遊び体験の提供
(よこはまフェア)



ガイドウォーク
(よこはまフェア)



ワークショップ
(はちおうじフェア)



旧広島市民球場跡地で行われている民間企画イベントとの連携（連携イベント）

写真 行催事のイメージ

5 会場運営計画

(1) 会場運営

- ・案内所内には貸出所を設け、「車いす」「ベビーカー」の無料貸出しを実施し、小さなお子様連れの方にはベビールームを提供します。なお、貸出物に関しては、地元関連団体等の協力も検討しながら、その拡充を図ります。
- ・外国人来訪者等に対しては Wi-Fi 環境の整備、語学ボランティアや手話ボランティアによる通訳対応のほか、タブレット端末の配備を行い多言語通訳・筆談に対応できる運営を行います。
- ・快適で安全な空間を創出するために必要な運営業務の設定や来場者サービスの提供、各施設の設置を計画します。
- ・来場者に安全・安心・快適に楽しんでもいただける会場維持のため、会場内の警備・救護体制、日々の清掃計画、危機管理体制を策定し、総合的な会場管理を行います。



総合案内所
(はちおうじフェア)



情報センター
(はちおうじフェア)



案内所スタッフ
(よこはまフェア)

写真 会場運営のイメージ

(2) 交通輸送

- ・会場へのアクセスは、公共交通機関の利用を基本とし、公共交通機関の利用促進を図ります。
- ・路面電車、アストラムラインから会場までの誘導案内を充実します。
- ・専用駐車場を設けず、会場周辺の既存駐車場を最大限活用した自家用車対策を検討します。ただし、障がい者駐車場、団体バス駐車場、タクシー乗降場、駐輪場については、メイン会場周辺への設置を検討します。
- ・会場周辺の違法駐輪・違法駐車を含む周辺対策を検討し、一般交通への影響の軽減を図ります。
- ・案内誘導のための交通看板を設置し、安心・安全な交通誘導を行います。



バス運行
(はちおうじフェア)



バスターミナル
(はちおうじフェア)



交通警備
(はちおうじフェア)

写真 交通輸送のイメージ

5 会場運営計画 (3) 営業参加

(3) 営業参加

- 広島県の食文化に触れる機会として、郷土料理やご当地B級グルメなどを地元飲食企業、観光物産企業などの協力の下に展開します。
- 屋外で手軽に食べられ、こどもからお年寄りまで幅広い層に受け入れられる飲食サービスを展開します。
- 物販は、広島県の郷土物産のほか、緑化フェアを象徴する草花を県内花き業界の協力のもと販売することにより、都市緑化の啓発を促します。
- 参加形態は、全期間営業参加と期間限定参加の2つに大別し、多くの営業参加獲得と幅広い出店内容の実現を図ります。
- 会場周辺への回遊を目的とした周辺店舗との連携したサービスを検討します。



飲食店舗
(はちおうじフェア)



キッチンカー
(はちおうじフェア)



飲食休憩所
(はちおうじフェア)

写真 営業参加のイメージ

(4) ボランティア

- 来場者のおもてなしに関わるサービス運営や、会場内の植物の維持管理、植物ガイドツアー、ボランティアセンターサポートなど幅広い活動内容を検討します。
- ボランティア活動の拠点として、また、ボランティア同士の交流を図るため、メイン会場内、もしくは会場隣接施設等にボランティアセンターを設置します。
- ボランティアとしての参加が今後の地域づくりの担い手の育成につながるよう、ボランティア同士の交流を促進するとともに、更なるおもてなしの向上に向けた研修を実施します。



貸出対応
(はちおうじフェア)



フォトサービス
(はちおうじフェア)



植物管理ボランティア
(はちおうじフェア)

写真 ボランティアのイメージ

■会場運営区分

会場運営	会場サービス
	案内サービス、遺失物・拾得物対応、通訳・介助サービス、情報サービス 貸出しサービス、巡回サービス、迷子対応、ベビーサービス、運営サイン 等
	会場管理
	会場警備、衛生管理、施設管理、通門管理、救護、保険加入、清掃・ゴミ処理 消防・防災運営備品 等
	交通輸送
	駐車場運営、団体バス駐車場運営、駐輪場運営、交通誘導、バス運行 周辺対策 等
	営業参加
	飲食営業参加出店、キッチンカー、花き販売 等
	ボランティア
	ボランティアセンターサポート、案内サービス、外国語対応、催事運営補助 植物ガイドツアー、植物維持管理 等

6 協働推進計画

- ・様々な人々がひろしまフェアに参加できるメニューを設定するとともに、気軽にボランティアに参加しやすいよう半日だけの参加も可能とするなどの仕組みを検討します。
- ・参加へのモチベーションや、ひろしまフェアの一体感を高めるため、ボランティアの統一ユニフォームを検討します（ガーデニングが「かっこいい」「おしゃれ」と関心が高まるようなユニフォームを検討）。
- ・県内一円の活性化につながる多様な団体等の参加促進に取り組みます。
- ・既存の観光ガイドボランティアによる地域の花や緑のガイドの充実化（花や緑の知識はもちろんのこと、花や緑を通じた地域の歴史や魅力が伝わる内容等）を検討します。
- ・社会体験の場として、広島県内の大学や高校、専門学校等の参加も検討します。
- ・参加気運の醸成を図るため、県民参加のワークショップや交流会、研修会等を実施します。

■交流会や研修会の実施例

●各会場（地域）の県民によるフェア勉強会議

全国都市緑化フェアの目的やひろしまフェアの開催意義、各地域における役割やプログラム内容などを知る機会とし、地域が主体的に参加できるひろしまフェアとなるような勉強会の実施

●県民おもてなし研修

多くの人々がひろしまフェア開催期間中に地域を訪れることを想定し、県民一人一人が地域のホスト役となれるよう、広島の「おもてなしの心」を伝える研修会の実施

●緑化知識向上プログラム

ひろしまフェアを契機に、一人でも多くの県民が花や緑に触れ、知識を増やすことができるように、ひろしまフェア開会前から閉会后までを通じた花や緑の学びの場の提供

●県内全域の花や緑のまちづくりネットワークの構築

県内全域の花や緑の愛好団体やまちづくりグループ、県民が集結する機会となるひろしまフェアにおいて、広島の花や緑をつなぎ手とした交流をひろしまフェア閉会后も継続できるようなネットワークの構築に向けた交流会やワークショップ等の開催



おもてなし研修



緑化知識向上プログラム

写真 交流会や研修会の実施例

7 観客誘致・広報宣伝計画

- ・来場者の多くは県民であると考えられることから、県民への効果的な広報活動を展開します。（テレビ連載企画、新聞連載企画、県内 23 市町の各広報誌や既存イベント、ローカル情報誌、交通利用拠点、公共交通機関のラッピング等）。
- ・ひろしまフェアのシンボルマークや「はなのわ応援隊」を活用した PR に取り組むとともに、県内自治体全体で連携した広報に取り組めます。
- ・ひろしまフェアの旬な情報を分かりやすく伝えるため、SNS 等によるリアルタイムな情報提供を行うとともに、マスコミへの積極的な情報提供（1 週間のイベント情報をまとめた「今週のはなのわ」等の提供）を行います。
- ・ひろしまフェアの開催を効果的に PR するため、開催 1 年前などの節目にプレイベントを実施するとともに、メディアとタイアップした催事を行います。
- ・SNS 等による情報拡散を図るため、魅力的なフォトスポットの設置や飲食メニューの提供等を検討します。
- ・他都市の緑化フェアや県内の花・緑のイベント等での積極的な PR 活動を実施します。
- ・インバウンドを含めた観光客への効果的な広報活動を検討します（大型観光キャンペーンとの連携、東京都内、ホームページ及び広島県内の外国人利用が多い観光地やホテル・ゲストハウス・観光案内所などでの広報活動）。
- ・花と緑の達人リレーシンポジウムなど、地域の人材にスポットをあてた共感を呼ぶ広報に取り組めます。
- ・スポットイベントの PR をリレー展開することで、スポットイベントへの誘客促進を図るとともに、ひろしまフェア閉会後も残る連携及びつながりづくりに取り組めます（ひろしま生花リレーの実施など）。
- ・県民の参加気運の醸成を図るとともに、ひろしまフェア開催の PR も念頭におき、県民参加のワークショップ等を実施します。
- ・スポットイベント会場等への旅行会社等によるツアー企画を働きかけ（助成措置等によるインセンティブを検討するとともに、ひろしまフェア閉会後も定着するツアーとなるよう働きかけ）、合わせてツアーバスの運行も検討します。
- ・スポットイベント会場等への回遊には食の魅力も重要であることから、花や緑を感じられるカフェを「はなのわカフェ」として認定してマップ作製や広報活動等、花と食の魅力による回遊促進に取り組めます。
- ・春から秋の開催期間にわたり、メイン会場、協賛会場及びスポットイベント会場の回遊を促す仕組みづくりに取り組めます（強いインセンティブとなるスタンプラリー手法の検討、サイクリングによる回遊促進手法の検討）。
- ・参加協賛に向けた誘致を進め、最大限の支援獲得を目指します。

7 観客誘致・広報宣伝計画

表 観客誘致・広報宣伝手法の一覧

区分	内容
ビジュアル アイデンティティ	・開催テーマを象徴し、広島らしく、広く県民に親しまれるひろしまフェアの愛称やロゴマークを設定し、広く広報に活用 ・「はなのわ応援隊」の活用
キャンペーン 活動	・県及び県内23市町の広報連携、各種関係団体等との連携による周知活動 ・各市町の既存イベント等を活用したPR活動 ・大型観光キャンペーンとの連携 ・プレイベント、ワークショップの開催
ツール作成	・ポスター、パンフレット、チラシ、会場案内チラシの作成 ・スポットイベント会場や地域資源など、季節ごとのガイドブック ・スタンプラリー用紙の作成
媒体活用	・テレビ、新聞、ラジオ、ローカル情報誌、広告掲載等のマスメディアの活用 ・県及び県内23市町の既存媒体（パブリシティ）の積極的な活用
交通広告	・駅、空港や市電、バス等の社内吊り、タクシー広告、公共交通機関のラッピング
広告物制作	・広告塔、横断幕、バナー等の制作
WEB、SNS活用	・ホームページ制作、SNSへの投稿 ・出展者や関係者、ボランティア等によるSNSの活用の促進
回遊促進	・旅行会社等によるツアー企画の促進やシャトルバスの運行 ・はなのわカフェの設定と活用 ・スポットイベントPRのリレー展開（ひろしま生花リレー等） ・各会場の回遊を促す仕組みづくり（スタンプラリーやサイクリングルートを検討等）
公式記録	・ひろしまフェア閉会後の公式記録の作成

8 事業スケジュール

全体計画	2017 年度 (開催 3 年前)	2018 年度 (開催 2 年前)	2019 年度 (開催 1 年前)	2020 年度 (開催年度)
全体計画	基本構想			ひろしまフェア 開催 (3 月～11 月)
		基本計画		
			実施計画 広報宣伝等	
会場計画			実施地、会場整備	撤去
国との協議	国土交通大臣開催同意 (5 月 23 日)			
実行体制	実行委員会設立・総会 (1 月 30 日)		総会 総会	実行委員会解散

9 事業推進体制

- ・県内一円での円滑な実施及び運営を図るため、また、ひろしまフェア閉会後の更なる発展を念頭に、主催者、関係行政機関及び関係団体等により構成する実行委員会を設置するとともに、必要に応じて専門部会を設置します。また、実行委員会の事務を処理するため、実行委員会事務局を設置します。
- ・ひろしまフェアの実施にあたって、専門的な観点から助言を得るため、必要に応じてアドバイザーを置きます。

